

<特徴的な取組>

【 概要 】

社会人デビューした新卒職員が福祉の仕事に戸惑うことなく、法人のメンバーとして1日も早く職場に馴染めるための育成プログラムを策策し新人教育に取り組んでいます。

【 取組の経緯 】

新卒採用者の中には入職後、福祉の仕事に対するイメージギャップを抱き早期退職される方もいます。入職後は、まず福祉の仕事を知る、法人を知ることを見事に2ヶ月の体験研修期間を設け、定着を図っています。

【 実績 】

体験研修として2週間単位でデイサービス、グループホーム、特養、障がい者施設を巡回し福祉の仕事の多様性と職場環境を知ってもらいます。研修期間中には接遇や福祉の仕事の基礎研修受講が盛り込まれています。2ヶ月の研修を経て個別に面談し、各指導担当者の評価、個人の適性や意向を総合し6月から本配属を決定しています。

【 職員の声 】

福祉系の仕事が初めてで、何も知らない状態からのスタートでしたが、2週間の研修を4カ所行かせて頂き、それぞれの事業の特性や、高齢者や障がい者の方について深く知る事が出来ました。また目標となる先輩にも出会え、自分が携わりたい事業についても考えることが出来ました。

【その他の取組み】

眠りスキャン・移動式昇降リフトの活用、外国人技能実習生の受け入れ、介護員初任者研修・介護福祉士実務者研修開講、介護福祉士奨学金貸し付け事業



<ある若手職員の1週間>

■勤務時間

(月) 日勤 9:30~18:30

(火) 夜勤 16:30~9:30

(水) 非番

(木) 公休

(金) 早出 7:00~16:00

(土) 遅出 11:00~20:00

(日) 公休



■仕事後の過ごし方（夜勤明けの過ごし方）

夜勤明けは仕事モードをオフにし、自宅でゆっくり過ごします。

■休みの日の過ごし方

コロナが収まればパフェの食べ歩き巡りを再開したいと思っています。天気が良ければ愛車に乗ってドライブにも出掛けリフレッシュしています。

■先輩職員との交流

時々一緒に食事をしたりカラオケに出掛けたり、諸先輩は仕事のこと、プライベートのこと、公私に渡り優しく親身になって色々な相談に乗ってくれます。